

いのち、痛みに全力

FUKUOKA WAJIRO HOSPITAL

CONTENTS

- 2・3 新型インフルエンザ特集
感染しないようにするためには
- 4 トピックス／平成22年1月1日より電子カルテの運用が始まります!
- 5 院長コラム／「ゴルフの思い出」
- 6 健康教室／医療被ばくについて
- 7 職場紹介／臨床工学科(ME)
- 8 医療搬送用ヘリ ホワイトバード
災害対応訓練参加
渡辺淳BAND演奏会

地域医療により大きく貢献!!

第22号

平成21年12月



病院機能評価認定 臨床研修病院

医療法人財団 池友会

福岡和白病院

〒811-0213
福岡市東区和白丘2丁目2-75
TEL.092-608-0001
E-mail:info@f-wajiro.biz
http://www.f-wajiro.biz

医療搬送用ヘリ ホワイトバード 災害対応訓練参加

WHITE BIRD
CHIYUKAI-EMERGENCY TRANSPORTATION SYSTEM DIVISION

ホワイトバードの本格運用から1年が過ぎました。

運用当初は、不慣れな部分もありましたが、今ではすっかり日常の業務となりました。このように日頃からの経験は非常に重要です。ホワイトバードには大きな災害時には救命活動の使用も期待されています。そのため、その万が一に備え積極的に訓練にも参加しています。

九州自動車道 古賀SA 平成21年9月15日(火)

参加機関

直方・鞍手広域市町村圏組合消防本部／粕屋北部消防本部／西日本高速道路株式会社九州支社

高速道路上の事故による救命活動をする際の、関係機関の相互協力体制の確立を目的に訓練を行ないました。



飯塚市消防防災訓練 平成21年10月3日(土)

飯塚市における医療機関、消防機関、地域住民との多数傷病者事故対応訓練に医療支援及び患者搬送の訓練として参加しました。



福岡空港 航空機事故対処総合訓練 平成21年10月26日(月)

福岡空港における航空機事故に備え、医療班として、地上からの医療支援チームとホワイトバードが参加しました。



渡辺淳 BAND 演奏会

昨年に続き、10月末に天神のライブハウスで2回目演奏会を行いました。

普段の先生からは想像できないエレキギターを巧みに操り、職員を熱狂の渦へ誘いました。

また、今回はボーカル（赤いドレスの女性）を外来スタッフが担当しています。

待ち時間の合間にも、この写真を頼りに探してみてください。



福岡和白病院の基本理念と基本方針

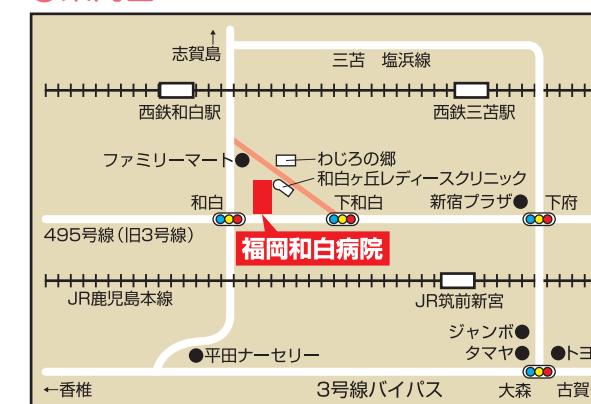
基本理念

手には**技術**、頭には**知識**、患者様には**愛**を

基本方針

1. 高度医療 学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。
2. 総合医療 患者様と医療情報を共有し、急性期治療から、早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者様のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。
3. 地域医療 地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。

●案内図



新型インフルエンザ特集



感染しないようにするためには

11月27日国立感染症研究所の調査によると、ことし7月以降に新型インフルエンザに感染した患者は推計で1,075万人となり、1,000万人を超えました。最終的には例年のインフルエンザ感染患者数を大幅に上回る可能性が高いので、予防措置をとり医療機関の外来診察の負担を減らすなどの対策が重要だとしています。インフルエンザウイルスは常に私たちの身近にいます。インフルエンザにかからない、そのためにはどうしたらよいかを明確にしておかなければなりません。

インフルエンザは、いろんな形をかえて私たちに襲いかかっています。16世紀ヨーロッパではインフルエンチャと記載があります。江戸時代にはお駒かぜ・谷風といっていました。1918年スペイン風邪・1977年ソ連風邪・1987年アジア風邪が流行しています。今は、RNA分節8個の組み合わせで、インフルエンザは人工的に作ることができます。今回の新型インフルエンザはサイトカイン免疫応答の亢進と自己免疫低下を引き起こすことがわかっています。インフルエンザ感染死亡率は季節性で0.06%（10,000人に6人に鳥インフルエンザで2%（100人に2人）です。今回の新型インフルエンザの死亡率は季節性に近いといわれています。では私たちがインフルエンザにかからないようにするためにはどうすればいいか？明確な答えはありません。ただ、目に見えないインフルエンザウイルスがからだにどのように侵入してくるかを想定して体に侵入させないこと、インフルエンザ感染症にかからないように体力と免疫を涵養すること2つのことがとても重要になってきます。

それでは、2つのことについてお話したいと思います。

一般的にウイルスの侵入経路には①接触感染②飛沫感染③空気感染の3つがあります。新型インフルエンザウイルスは主として①②で感染します。①の接触感染は手指に付いたウイルスが鼻、口、目の粘膜に付着して感染します。②の飛沫感染は咳によって飛散する粒子を吸い込んで感染します。咳による粒子の拡散は1〜1.5メートルの範囲だといわれています。私たち病院関係者は手指消毒・洗浄を徹底し、サージカルマスクを鼻までしっかりかけて自分自身がからないようにし、また患者様にうつさないように日々気をつけています。わたし自身も顔を触る前に手を洗うよう、心がけて診療に臨んでいます。病院内では気管支鏡や気管内挿管の処置をする際に発生する、霧状の体液の飛散（エアロゾル）があると空気感染を起こすのでN95マスク・ゴーグル・手袋を着用することが必要となります。

体力・免疫を涵養するためには、質のよい栄養・睡眠をとることが重要です。食べ過ぎることは消化管に負担をかけ腸管免疫をおとし体の免疫低下を起します。ファーストフードやスナック菓子などのジャンクフードは添加物・保存量が大量に含まれており、分解排泄するうえで体に負担をかける上に余分な糖質の摂取により体の免疫低下を起します。睡眠不足だと、睡眠欲求で体にストレスを与えることでコルチゾール（ステロイド）が分泌されて免疫低下を起します。

インフルエンザにかからないようにするためには、予防の知識を得て日々思い起こして実践すること、一日きちんと3食バランス良く食べ、しっかり睡眠をとり体調を万全にすることが重要です。インフルエンザにかかり治療を受けることにならないように、かかっても自然治癒力で早く回復するように普段から備えていくのです。



ICT委員長
内科医師 津 畑 学

※ICT=インフェクション(Infection 感染)コントロール(Contorol 制御)チーム(Team)



「ゴルフの思い出」

院長 伊藤 翼

これまで野球とテニスを書いたので、今回はいよいよゴルフについて述べたい。私の人生におけるスポーツのピークは10～20代・野球、30～40代・テニス、50～60代・ゴルフとはっきり分かれている。

スポーツの楽しみは、プレーをする度に上達する余地があり、自分が成長するのを実感することにある。ゴルフのピークが過ぎて、落ちる姿しか見なくなったら、ゲートボールかグラウンド・ゴルフに挑戦しているかもしれない。

若い頃は、ゴルフは暇と金がかかり、50歳を過ぎた老人のスポーツと他人事に思ってきたが、立派な老人となった今では、挑戦する価値のある奥の深いスポーツと考えるようになった。

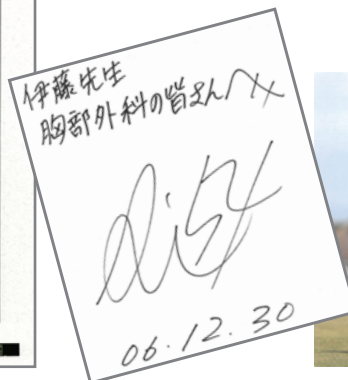
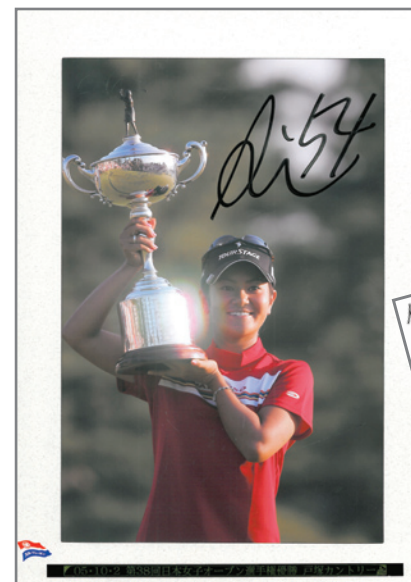
ゴルフの思い出が特に深い、私の3人の患者さんを紹介すると、1人目は佐賀医大病院開院間もない20数年前、冠動脈多枝バイパスを施行した患者さんである。バイパス前にホールインワンを1回経験していたが、バイパス後に3回、計4回のホールインワンを達成して86歳の今もご健在である。

2人目は心筋梗塞既往のある患者さんで、ゴルフ場の理事長を長年務められた方であるが、私たち夫婦のゴルフの師匠でもあった。77歳で初めてのエイジ・シュートをしたが、3年前に91歳で亡くなるまでに、エイジ・シュート100回とホールインワンを2回達成した。晩年近く外来診察時に、「もし私が今貴方の年齢であれば、私もエイジ・シュートが十分狙えますね」と話すと、いつもの温和な笑顔で頷かれた。

3人目は15年前の11月に冠動脈多枝バイパスを施行した、現在77歳の患者さんで、72歳で初めてエイジ・シュートを達成し、長崎の新聞に大きく報道された。その後最近までに、10回のエイジ・シュートと1回のホールインワンを達成した。毎年11月に、運動負荷テストも兼ねて長崎でゴルフの相手をしていたが、今年は病院近くの和白コースと一緒にプレーした。年齢を感じさせない鋭刺とした見事なゴルフに圧倒された。これから何回エイジ・シュートを達成するか楽しみである。

今年のゴルフ界は石川遼君で明け暮れたが、宮里藍ちゃんの活躍も素晴らしかった。今年の7月、フランスのエピアン・マスターズで優勝して、念願の米国女子ツアーで初優勝を果たし、惜しくも賞金女王を逸したが、来シーズンの活躍が今から楽しみである。院長室に藍ちゃんの写真を飾っているが、2005年日本女子オープン優勝（戸塚カントリー）の直筆サイン（Ai54）入りの写真である。翌年から米国女子ツアーに参戦したが、スランプ陥った時にアニカ・ソレンサムに、18ホール全てバーディーを狙いなさいと教えられて「Ai54」とサインするようになったと本人から聞いた。

私も来年から色紙を頼まれたら、エイジ・シュートを狙って「Wings 67」とサインすることに決めた。



平成22年1月1日より電子カルテの運用が始まります！

電子カルテとは、これまで医師等が診療の内容を記入していた「紙のカルテ」を電子的なシステムに置き換え、電子情報として一括してカルテを管理する仕組みのことです。

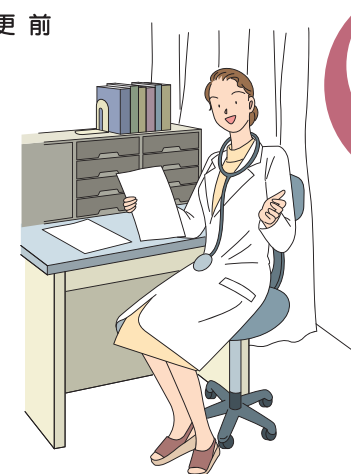
この度、患者様により一層の安全な医療を提供させて頂くため導入することに致しました。職員一同、万全を期して導入準備をすすめておりますが、導入に際しては、待ち時間で患者様にご迷惑をおかけする場合も考えられます。



また、平成22年1月1日電子カルテ導入により診察券も変更になります。



変更前



変更後

- 新しい診察券には右側にバーコードが入っておりますのでお間違いのないようお願い致します。
- 平成22年1月1日より受診される方々には無償で交換させていただきます。なお、発行後に紛失された場合は再発行時実費100円がかかります。

職員一丸となって電子カルテ導入準備をすすめております！

臨床工学科(ME) 職場紹介

当院の臨床工学科は、平成5年4月に5名の臨床工学技士入職でスタートしました。当時は、人工透析を始め手術室業務（人工心肺、直接介助など）、補助循環（PCPS）を行いながら手探りの医療機器管理を行っていました。平成7年には高気圧酸素治療が導入され、我々の業務も拡大するばかりの多忙な日々の幕開け時期となりました。平成8年には日本で初の補助人工心臓「BVS5000」を導入し、20代女性の劇症型心筋炎を救命し充実感に浸っていたことを今でも覚えています。平成17年には新病院と共にMEセンターを設立、安全な医療機器を現場に提供できるよう医療機器中央管理を始め、機器保守点検の充実を図りました。また、ハートセンター設立を機に、循環器科より「心疾患を一貫性に見てほしい」と心臓カテーテル検査に参入し、補助循環から検査手術まで一貫した心疾患ケアを始めました。

現在では、技士17名で人工透析やアフェレイシスを含む血液浄化、人工心肺（手術室業務）、補助循環、心臓カテーテル検査（ペースメーカー、不整脈治療を含む）医療機器中央管理、高気圧酸素療法、下肢レーザー治療、在宅呼吸器管理と幅広く業務を行っております。

また、透析患者様の通院支援にと送迎をおこなっており、患者様の様子、社会背景の理解などを目的に送迎を臨床工学技士が行っています。この送迎も最初は大変でしたが、患者様のご自宅を訪問することで、ご自宅での様子が垣間見え、透析管理に一役駆っており、今では患者様とのコミュニケーションを取る良い時間となっています。



ハートセンタースタッフ

前列左から
野口循環内科長 濱田心外部長 伊藤院長 齋藤統括副院長 比嘉循環内科長 樋口医師
中列左から 中山医師 仲村医師 池田医師 有田係長技士 白馬医師 村田技士
後列左から 植田主任技士 大澤技士 泉副主任技士 山中副主任技士



人工透析室内風景



高気圧酸素療法室

医療被ばくについて

～はじめに～

近年、医療の発達に伴い一般撮影（レントゲン撮影）、透視、CT、血管造影、RI、PETなど放射線を使用する検査も発達してきました。

当院を受診される患者様も、放射線を使う検査を受ける機会が多いのではないのでしょうか。

その際やはり気になるのが、放射線による被ばくでしょう。そこで今回はこの医療被ばくがどの程度身体に影響するのかを分かりやすくQ&A方式で解説していきたいと思います。

※人体が放射線を浴びた時にその量を表す単位をSv（シーベルト）と言います。1Sv=1000mSv



Q1 放射線は危険??

A1 実は私たちは、医療被ばく以外にも宇宙や大地から発生している自然放射線を常に浴びています。胸のレントゲンを一枚撮影すると0.05mSvという放射線を浴びますが日本では年間に2.4mSvという自然放射線を浴びているといわれています。ちなみに自然放射線が一番多いのはインドのケララ地方で、大地からの放射線だけで28mSvもありますが、住民の健康への影響は全く認められていません。

身近な放射線の線量と放射線障害

胸部X線写真	0.05mSv/回
胃透視	2～4mSv/回
胸部CT検査	5～8mSv/回
血管造影検査	3～8mSv/回
PET	2.6mSv/回
飛行機（アメリカ往復）	0.19mSv/回
白血球異常（放射線障害）	250mSv/回
脱毛（放射線障害）	3000mSv/回

Q2 毎年検診で胸レントゲンと胃透視をしているけど大丈夫??

A2 前述のA1をみてわかるように、医療における放射線被ばくは極少ないものです。基本的に医療における放射線の照射はリスクより利益が上回った場合に行われます。病気の早期発見、早期治療を考えれば非常に有用であることがいえます。

Q3 医療従事者の被ばくはかなり多いのでは??

A3 下の写真は個人線量計といい放射線を扱う医療従事者が着けているものです。幾つかの種類はありますが、すべて医療従事者個人の被ばく線量を計測するものです。月ごとや年間で許容被ばく線量が法令で定まっており、これを超えないように撮影や治療を行っているので問題ありません。また通常その線量の限度まで到達することはまずありません。



放射線技師 岩下 昌司